

平成31年度 四日市港管理組合当初予算の概要

1 予算編成の考え方

四日市港管理組合の予算は、事業の選択と集中を図り、「四日市港戦略計画2019～2022」の取組を着実に推進することを基本方針として編成しました。

2 予算の規模

平成31年度四日市港管理組合当初予算は以下のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	30年度当初予算	31年度当初予算	増 減 額	伸 び 率
一 般 会 計 (県 市 負 担 金)	5,444,633 (2,733,174)	5,092,082 (2,750,592)	△352,551 (17,418)	△6.5 (0.6)
港湾整備事業 特別会計	3,189,779	3,681,881	492,102	15.4
合 計	8,634,412	8,773,963	139,551	1.6

(1) 一般会計

一般会計の予算総額は50億9,208万2千円です。平成30年度当初予算額と比較すると3億5,255万1千円の減少となっています。

これは、国直轄事業負担金の減等により港湾建設費が6億3,131万5千円減少する一方、公債費が1億573万7千円、港湾施設の維持補修等により港湾管理費が8,800万2千円増加することなどによるものです。

(2) 港湾整備事業特別会計

特別会計の予算総額は36億8,188万1千円です。平成30年度当初予算額と比較すると4億9,210万2千円の増加となっています。

これは、霞ヶ浦南埠頭23号岸壁荷役機械大規模改修等により管理費が3億2,751万7千円、霞1号上屋耐震補強等改修等により建設事業費が1億1,564万2千円増加することなどによるものです。

3 主な取組

四日市港管理組合は、「四日市港戦略計画 2019～2022」に基づき、ご利用いただく皆さんに、さらに選ばれる港になるよう次の3つの視点に立った取組を中心に進めてまいります。

物流を支援する港づくり

四日市港は、原油、LNG、石炭をはじめとした多くのバルク貨物やコンテナ貨物等を幅広く取り扱う総合港湾であり、今後も製造業を中心とした中部圏の産業を物流面から支えていく必要があります。

一方で、長い歴史を有する港であることから、老朽化に伴う施設の機能低下への対策も進めていかなければなりません。

このような認識のもと、企業ニーズに対応した港湾サービスや港湾施設の充実を図る取組を進めます。

港湾サービスについては、コンテナ貨物のさらなる集荷拡大を図るため、荷主企業のニーズの集約・分析を進め、四日市港利用促進協議会を核とした官民連携によるポートセールスを展開するとともに、補助制度の充実を図ります。

港湾施設については、整備から30年以上が経過した霞ヶ浦南埠頭24号岸壁における荷役作業の安全性の確保等のための岸壁改良を行うとともに、上屋や荷役機械の改修を行います。

<主な事業>

(一般会計)

- ・国直轄事業負担金(霞ヶ浦南埠頭24号岸壁改良)① 202,500千円

国が行う霞ヶ浦南埠頭24号岸壁改良に対する負担金。
整備から30年以上が経過しており、荷役作業の安全性の確保等のための岸壁改良を行います。

- ・国補港湾改修事業費(霞ヶ浦南埠頭27号岸壁改良)② 300,000千円

供用開始から40年以上が経過し、老朽化が進んでいる霞ヶ浦南埠頭27号岸壁下面補修等の予防保全を行います。

※事業名の右の○数字は、施工箇所図の位置を示しています。

- ・社会資本総合整備事業費（霞ヶ浦南埠頭 22 号岸壁鋼管杭補修等）
182,100 千円
〔 老朽化等により機能が低下した港湾施設の補修等を行います。 〕

(特別会計)

- ・ポートセールス事業費（船会社集荷促進事業補助金）
34,000 千円
〔 外貿コンテナ取扱個数を一定量以上増加させた船会社への支援を行います。 〕

- ・ポートセールス事業費（基幹航路等コンテナ船寄港誘致事業補助金）
26,000 千円
〔 新たに四日市港に寄港する基幹航路等のコンテナ航路を開設する船会社への支援を行います。 〕

- ・ポートセールス事業費（荷主企業四日市港利用支援事業補助金）
56,485 千円
〔 四日市港で新たに外貿コンテナ貨物を取り扱う荷主企業及び外貿コンテナ取扱個数を一定量以上増加させた荷主企業への支援を行います。 〕

- ・ポートセールス事業費（事務費）
13,716 千円
〔 四日市港利用促進協議会への参画や国内外でのポートセールスを行います。 〕

① ・港湾施設改修費・港湾施設維持補修費

- （霞ヶ浦南埠頭 23 号岸壁荷役機械大規模改修）③
465,000 千円
〔 老朽化が著しい、工業塩やオイルコークス等を扱う荷役機械の長寿命化のための大規模改修を行います。 〕

- ② ・港湾施設改修費（霞 1 号上屋耐震補強等改修）④
238,621 千円
〔 霞 1 号上屋の耐震性確保及び長寿命化のための改修を行います。 〕

- ・港湾施設改修費（2 C・2 D 上屋耐震補強等改修）⑤
112,069 千円
〔 四日市地区 2 C・2 D 上屋の耐震性確保及び長寿命化のための改修を行います。 〕

人流を創出する港づくり

近年のクルーズ需要の高まりを契機として、四日市港を県民・市民にとってより親しみのある空間とするため、交流拠点としての魅力の向上を図る必要があります。

このため、市街地に近く、歴史的・文化的価値を有する四日市地区を四日市港の交流空間の中心として、開港 120 周年記念事業などのイベントの実施や千歳運河沿いの緑地整備を進めるとともに、客船等を受け入れます。

また、霞ヶ浦地区においても、ポートビルを拠点として交流機会の充実に取り組むとともに、四日市地区で受け入れられない大型の外国客船を受け入れます。

<主な事業>

(一般会計)

⑧・イベント・交流事業費(開港 120 周年記念事業関係) 3,850 千円

〔多様な主体と連携して、四日市港まつりにあわせた帆船の寄港等の開港 120 周年記念事業を実施します。〕

・イベント・交流事業費(四日市港まつり関係) 850 千円

〔多様な主体と連携して、四日市港まつりを開催します。〕

・イベント・交流事業費(外国客船の受入関係) 11,552 千円

〔四日市港客船誘致協議会に参画し、客船の誘致活動を行うとともに、外国客船寄港時の乗客の動線確保等の必要な措置を行います。〕

・社会資本総合整備事業費(千歳運河緑地整備(4号物揚場))⑥ 60,000 千円

・単独港湾施設整備事業費(千歳運河緑地整備(5号物揚場))⑦ 80,850 千円

〔老朽化の進んだ四日市地区千歳運河沿いの物揚場を景観等に配慮した緑地(交流空間)に整備するため、下部施設となる護岸改修を行います。〕

・展望展示室運営事業費 8,890 千円

〔四日市港が県民・市民に親しまれるよう、その中核施設としての展望展示室の適切な運営及び展示施設の保守管理を行います。〕

地域を守る港づくり

四日市港では、災害発生時には背後地の住民・企業や港の利用者の生命・財産を守り、被災後には速やかに背後地の復旧・復興を支える港となるよう、防災・減災の取組を進めています。

特に、地震・津波・高潮等の災害から背後地の住民や企業を守るため、海岸保全施設の点検・補修等の適切な維持管理を行い、老朽化した施設や危険性が高い施設について、計画的な整備を実施します。

また、改正SOLAS条約に対応した入出管理を適切に実施するとともに、保安設備の適切な維持管理を行います。

環境面では、温室効果ガス排出削減に向けて照明器具のLED化に取り組むほか、水環境の保全を行います。加えて、放置艇対策として「放置等禁止区域・禁止物件」指定のための調査等を行います。また、LNG燃料化に取り組む事業者を支援するため、入港料を減免（インセンティブ制度を創設）します。

<主な事業>

(一般会計)

・社会資本総合整備事業費（富田港地区海岸保全施設整備）⑧ 357,400千円

〔 富田港地区において高潮等による被害を防止するため、豊栄樋門排水機場の老朽化が進む水中ポンプ1台(2号ポンプ)の更新等を行います。 〕

・改正SOLAS条約対策推進費 68,808千円

〔 港内の重要国際埠頭施設等への不審者や不審物等の侵入を防止し、港湾活動の安全性の向上を図るため、警備や保安設備保全点検等を行います。 〕

・環境調査推進費 4,995千円

〔 港内の水質等の状況を把握するため、環境調査を行います。 〕

⑨・港湾施設管理費（放置艇対策） 358千円

〔 「放置等禁止区域・禁止物件」指定のための調査等を行います。 〕

(特別会計)

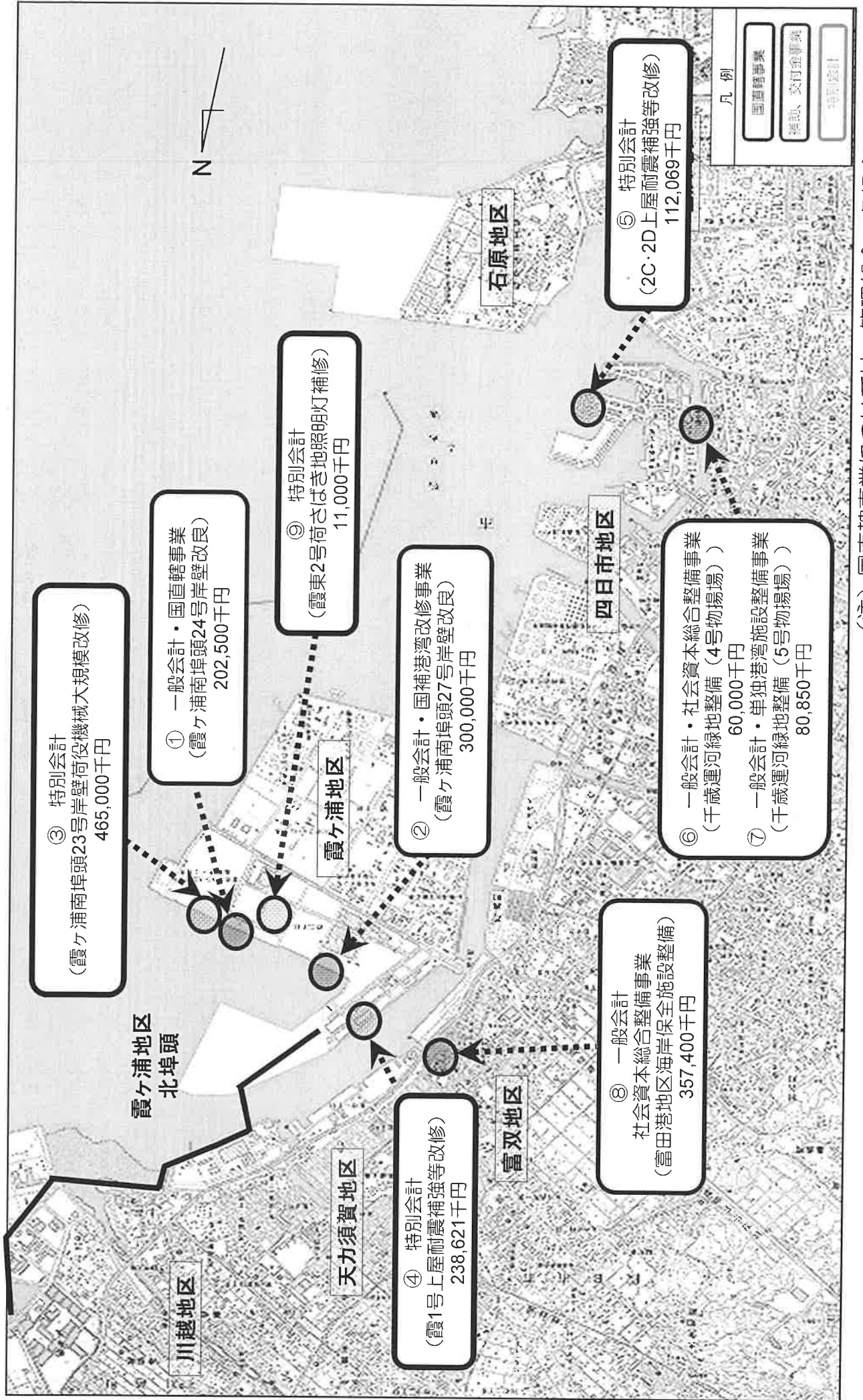
・港湾施設維持補修費（上屋防潮扉補修等） 40,000千円

〔 高潮対策等として港内の上屋防潮扉の保守点検や修繕等を行います。 〕

⑩・港湾施設維持補修費（霞東2号荷さばき地照明灯補修）⑨ 11,000千円

〔 荷さばき地の照明器具のLED化を実施します。 〕

平成31年度 当初予算主要事業施工箇所図



(注) 国直轄事業については、管理組合の負担金ベースです。